

## 第23回中央防災会議議事要旨

(開催要領)

1 開催日時：2008年12月12日(金) 17:15～17:43

2 場所：総理大臣官邸4階大会議室

3 出席委員：

会長	麻生 太郎	内閣総理大臣
委員	佐藤 勉	内閣府特命担当大臣(防災、沖縄及び北方対策)
同	鳩山 邦夫	総務大臣(代理：倉田雅年総務副大臣)
同	森 英介	法務大臣
同	中曽根 弘文	外務大臣(代理：伊藤信太郎外務副大臣)
同	中川 昭一	財務大臣(代理：竹下亘財務副大臣)
同	塩谷 立	文部科学大臣(代理：山内俊夫文部科学副大臣)
同	石破 茂	農林水産大臣(代理：石田祝稔農林水産副大臣)
同	二階 俊博	経済産業大臣(代理：吉川貴盛経済産業副大臣)
同	金子 一義	国土交通大臣
同	斉藤 鉄夫	環境大臣(代理：吉野正芳環境副大臣)
同	浜田 靖一	防衛大臣
同	与謝野 馨	内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
同	甘利 明	内閣府特命担当大臣(規制改革)
同	野田 聖子	内閣府特命担当大臣(科学技術政策、食品安全)
同	小淵 優子	内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画)
同	白川 方明	日本銀行総裁
同	近衛 忠輝	日本赤十字社社長
同	三浦 惺	日本電信電話株式会社社長
同	阿部 勝征	東京大学名誉教授
同	重川 希志依	富士常葉大学大学院環境防災研究科教授
同	秋本 敏文	日本消防協会理事長
説明者	中林 一樹	首都直下地震避難対策等専門調査会座長

(議事次第)

1 開 会

2 議 題

(1) 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略

(2) 承認事項

- ・会長専決事項の処理について

(3) 報告事項

- ・首都直下地震避難対策等専門調査会報告
- ・「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画
- ・中央省庁業務継続計画の策定状況について
- ・中部圏・近畿圏の内陸地震に関する報告  
(東南海、南海地震等に関する専門調査会報告)

(4) 首都直下地震に係る避難者・帰宅困難者対策について

- ・説明： 中林 一樹 中央防災会議専門委員  
「首都直下地震避難対策等専門調査会」座長

3 会長発言（内閣総理大臣）

4 閉会

(配付資料)

- 資料1-1 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略（案）について
- 資料1-2 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略（案）
- 資料2 会長専決事項の処理について
- 資料3-1 首都直下地震避難対策等専門調査会報告（概要）
- 資料3-2 首都直下地震避難対策等専門調査会報告
- 資料4-1 「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画（概要）
- 資料4-2 「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画
- 資料5 中央省庁業務継続計画の策定状況について
- 資料6-1 中部圏・近畿圏の内陸地震に関する報告の概要
- 資料6-2 中部圏・近畿圏の内陸地震に関する報告
- 資料7 首都直下地震に係る避難者・帰宅困難者対策について

(会議概要)

1 議事概要

(1) 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略

(2) 承認事項

- ・会長専決事項の処理について

(3) 報告事項

- ・首都直下地震避難対策等専門調査会報告
- ・「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画
- ・中央省庁業務継続計画の策定状況について
- ・中部圏・近畿圏の内陸地震に関する報告（東南海、南海地震等に関する専門調査会報告）

○ 事務局より、議題（１）から（３）について、資料１－１から６－２に基づき、説明があった。

（４） 首都直下地震に係る避難者・帰宅困難者対策について

○ 中林座長より、議題（４）について、資料７に基づき、説明があった。

○ 以上の説明の後、中央防災会議として、議題（１）及び（２）について、原案のとおり決定・承認することとされた。

## ２ 会長発言（内閣総理大臣）

○ 最後に麻生内閣総理大臣より挨拶があり、今回決定した日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略に示された対策の着実な実施、首都直下地震発生時の避難者・帰宅困難者についての対策の検討、各省庁で策定した業務継続計画の不断の見直しについて取り組むよう、指示があった。

（以 上）